

東日本
大震災から

3年 災害に備えて



衛星携帯電話・携帯タブレット端末の整備

大規模な災害が起こると、発信規制や通信規制といった通信制限が行われるために、電話が繋がりにくい状態になります。衛星電話は、地上の基地局を経由しないため、通信制限の影響を受けずに、連絡を取ることができます。

また、東日本大震災で、通信手段が影響を受けるなか、インターネット回線は比較的影響を受けずに利用できたことから、携帯タブレット端末の整備も行いました。これにより災害対策本部との通信が可能になり、迅速な対応をとることができます。

災害用ヘリコプターの導入

大規模震災や台風による洪水、最近頻繁に発生するようになった竜巻など、災害発生時の人命救助や災害復旧に素早く対応するには、上空からの調査が必要不可欠であることから、ラジコンヘリコプター(マルチコプター)を使った空撮システムを全国の市町村としては、いち早く導入しました。

同時に坂東ラジコンクラブとの災害時支援協定を締結し、災害時等における空撮調査や市職員へ操縦技術の指導にご協力をいただきます。

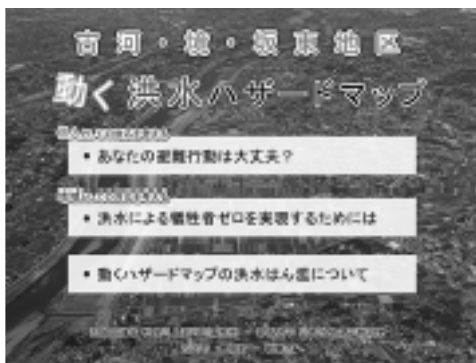


洪水シミュレーションの活用

利根川がはん濫した場合に想定される被害について、シミュレーションソフトを使用してご自宅周辺の被害状況を確認することができます。

また、洪水による犠牲者を出さないための対応についての解説や、みなさんが今考えている避難行動が適切かどうかをシミュレーションで具体的に確認することができます。

洪水時、ご自身の避難計画を検討する際にお役立てください。



洪水防災ビデオの活用

「釜石の奇跡」で有名な群馬大学、片田敏孝教授のグループ監修による洪水防災ビデオを作成しました。このビデオは、人の命を脅かすような洪水災害が発生した場合でも、どうすれば最低限命を守ることができるのか、そのポイントが分かるようにまとめたビデオです。

利根川がはん濫した場合の避難を検討する際の参考にしてください。



洪水シミュレーション、洪水防災ビデオは、市のホームページ (<http://www.city.bando.lg.jp/>) から見るすることができます。また、洪水防災ビデオは、市立図書館で貸出しています。